

コロナ禍における地域実習と 新人育成における実践と(課題) 今後の連携について考える

～教育・自治体・産業保健の現場から～（日本保健師連絡協議会）

日時 2021年12月21日(火) 17:30～18:45

会場 新宿NSビル 3F NS会議室 西ブロック3-H
(東京都新宿区西新宿2丁目4-1)

参加 事前申込不要 先着60名 受付開始17:00～

プログラム

コロナ禍における地域実習等への影響や、新人育成の現状等について情報共有し、今後の連携について考えます。

○自治体現場より（新人育成における実践と課題）

東京都多摩府中保健所 保健対策課 橋本 雅美 氏

○教育機関より（地域実習と保健所応援を通して）

杏林大学保健学部教授 大木 幸子 氏

○産業保健現場より（コロナ禍で新入社員を迎えた経験から）

富士通株式会社健康推進本部 健康支援室 村上 郁也 氏

○教育機関より（R2公衆衛生看護学実習に関する調査結果）

三育学院大学教授 鈴木 美和 氏

○ディスカッション・まとめ

日本保健師連絡協議会とは？

「保健医療制度や活動体制及び保健師基礎教育等の変革に対して、保健師活動の基盤に関わる事項、保健師の専門性の保証に関わる事項について、必要な調査研究及び関係機関への働きかけ等を、連携して、且つ全国の保健師の総意をもって取組む」ことを目的とし、次の6団体で構成されている協議会。

一般社団法人 日本産業保健師会・公益社団法人 日本看護協会・一般社団法人 全国保健師教育機関協議会・全国保健師長会・日本保健師活動研究会・一般社団法人 日本公衆衛生看護学会